

1997年度

ブロック6 テュートリアル課題  
(チューターガイド)

術後ぼけてしまった

課題番号 1997 B6-T2-2

使用期間 1997年 11月 28日 ~ 12月 12日

東京女子医科大学麻醉科学教室 1997

(課題作成： 麻醉科学教室 鈴木英弘・池田みさ子)

無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。



麻酔医のA医師は、2日前に麻酔をかけた大腿骨頸部骨折の長谷川さんの術後回診に行きました。付き添っていたお孫さんが心配そうに言いました。『おじいちゃん手術したあとすっかりぼけてしまって、私のことがわからない時があったりして……、いつもにもどるのでしょうか?』

A医師は長谷川さんの問診票を見ながら、術前回診の時かわした会話を思い出した。

A医師 『おいくつになりましたか?』

長谷川さん 『82才になります。』

A医師 『いつけがをしましたか?』

長谷川さん 『転んだのは3日前の14日です。』

A医師 『今まで、何か病気で入院したり、長い間使用している薬はありますか?』

長谷川さん 『高血圧で、10年位前から薬を飲んでいます。』

・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・  
・

A医師 『明日は背中から麻酔薬を注射して、麻酔をする予定ですがよろしいですね』

長谷川さん 『はい、わかりました。』

としっかりとした応答であったが、会話から手術に対する不安がうかがわれた。

手術中の様子

A医師 『長谷川さん、足は痛みますか?』

長谷川さん 『いいえ、でもじっとしていることがつらいです。』

A医師 『では少しお休みになりますか?顔にマスクをあてますよ。酸素が流れてますので楽に息をして下さい。』

術後ぼけてしまった

『長谷川さん、長谷川さん、目を開けて下さい』手術が終わって  
A医師は肩をゆすりながら声をかけた。長谷川さんは手をもぞもぞ  
動かすが指示に従う様子はなかった。しかし、約30分後指示に従  
うようになり病室に帰室した。

A医師は23日車イスに乗った長谷川さんとお孫さんに売店で会いました。

A医師 『何を買ったんですか?』

お孫さん 『つくだ煮を買いました。先生から何を食べても  
良いといわれたので、私を他の人とまちがえること  
はなくなりました。』

とうれしそうに話してくれました。